

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもサポート教室「きらり」円座校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		~ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		~ 2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援スペースが広いこと	危険がないように毎日の清掃や消毒、必要に応じて配置の設定を変更している	広いスペースの中でも怪我がないように設備管理や支援員の充実を図る
2	必要な支援課題や家庭を含めた周辺環境の困りを調整してその子に合わせた支援を提供	家族支援や子どもサポート加算を取るようにして家庭での様子の聞き取りを行っている	お忙しい保護者様には聞き取りが行えていないことがあるため時間を作り、定期的に話が聞ける環境を作る必要がある
3	専門職員の充実	色々な資格を持つ指導員が入れるように支援組みを行っている	個別支援計画や専門支援実施計画を新しく立てる時には、全職員に回覧し共通の認識を持てるようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	従業員の移り変わりが多い	児童発達支援管理責任者が少ないため	児童発達管理責任者になれる要件の人の育成
2	支援の幅が少ない	現状の発達段階とその後の求められる成長が職員個人による判断となってしまっている	現在、個別支援計画の更新を半年ごとに行っているが、利用者様に応じて半年よりも早く検証・評価・モニタリングが必要
3	地域との交流や保護者様同士の交流が少ない	イベントの開催が少ないこと	積極的にイベントの起案を行っていく必要がある

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」円座校

公表日 2025年 1月 14日

利用児童数 10名

回収数 10名

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	1		支援のフィードバック時や家族支援等で保護者様のお話をお聞きしながら個別支援計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1	0	0	基本的には計画に沿って進められていると思うのですが、子どもが別のものに興味を持ったらそれをさせてもらっている様子を見てもらったり、プラスアルファで支援してもらっているなどと思います。	基本的には個別支援計画に沿って支援提供していますが、必要に応じて支援内容を変更させていただき、その都度必要な支援提供をしています。内容を変更した場合は説明をします。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	2	1		関係機関連携にて交流することはありませんが、イベント等での地域との交流はないためイベントの提案をしています。
保護者への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1	0	0		分かりやすい説明を心がけます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	0	0		支援見学をしていただき、フィードバックをさせていただいています。研修に関しては、必要に応じて提案することがあります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	10	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1	0	0		次月利用日程を決める際に家族支援を取るかの確認をさせていただき、必要と思うお子さんに関しては、職員からお声掛けさせていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0		

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	3	2	3	イベントの開催は少ないですが、必要に応じて保護者同士の交流を個別に案内してピアカウンセリングを行うことがあります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2	0	0	利用契約時に利用契約書や重要事項説明書にて説明をさせていただいています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	0	1	集計後に結果のご案内を校内に提示するようにします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	4	マニュアルについては、玄関横の靴箱の上にファイルを置いています。発生を想定した訓練は会社内の研修にて行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	0	6	訓練については、月1回個々の利用者様にお声かけさせていただき実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	0	0	身体拘束については利用契約時に説明させていただいています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	2	事故があった際には、来所して下さった保護者様には一緒に確認させていただいております。来所がなかった場合は電話連絡をさせていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子どもサポート教室「きらり」円座校				公表日	2025年 1月 14日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・安全配慮の面など場合に応じてベビーカーなどの活用 ・施設自体が広く、他児がいてものびのび利用していただける	・支援対象以外の兄弟児の対応について改善が必要 ・児発が遊びの支援をするスペースを決めている。ボール遊びなどをする時に幅が狭いと怪我をすることがあるため、広い場所で行う必要がある 児発の利用が同時時間に重なった際の適切なスペースが必要		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・最低限の人数は確保している ・職員の出勤人数に応じて同時3～5支援可能 ・こどもの状態に応じて担当を決めている	・人数が少なく感じる。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・玄関の滑り止めマットなどこげにくい工夫をしている ・遊んでいる時の注意点やお約束を壁に貼っている ・危険な場所や注意点をイラストや文字で示している			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎朝、担当を決めて清掃を必ず行っている ・玩具の数も多くそれぞれの支援活動に適応している。遊具も増えた	・同時時間の支援が多いときは子ども同士の接触による怪我がないように気を付ける必要がある		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・視線が気になるお子さんや聴覚過敏のお子さんを個室へ案内することがある ・ホワイトボードでスペースを区切っている ・個室が2部屋あるため、必要に応じて使用可能			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・支援による反省や悩みをミーティングで共有、相談している ・毎日の朝礼・ミーティング・終礼で共有をしている			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・保護者の意見があった場合職員みんなに共有している ・毎年評価表を保護者に依頼しており、改善につなげている ・アンケートを行っている。その都度意見があれば職員内で話し合って解決に向かっている	・集計結果より、改善や工夫につなげていく必要がある		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・ミーティングで話し合い、管理者や上長と面談を行っている			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・社内監査での評価や業務改善につなげている。	・現在会社として実施していない		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・社内で月1回ほど発達研究所の方が行っている ・テーマ研修や虐待防止、感染防止の研修等を社内で計画的に実施している ・研修に参加している。校舎内で支援見学を行っている			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	・記録を毎回お渡ししている ・子どもに合わせた支援プログラムを作成している ・職員間で相談しながら支援プログラムを立てている	・来年から制度として支援プログラムの公表が導入されるため実施の準備をしていく		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・モニタリングや事業所内相談をその都度行っている ・子どもの様子を伝え、変化などに対応できるようにしている ・毎回保護者とその日のフィードバックや保護者からの話を聞く時間を設けており、その意見をもとに計画書作成に反映している ・保護者の話と利用者の状態の両方を踏まえ			

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報は必ずミーティング以外朝礼等で報告している 子どもの様子を理解している職員が様子を伝えている 児童発達支援管理責任者と担当指導員で話し合いを行って計画を作成している 担当指導員がモニタリングを行っている 	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 計画書作成時に全職員に回覧し、修正案など意見を出し合って作成し、計画書に沿った支援をしている 	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 年に1回アセスメントを行っている 子どもの日々の様子を観察しながら支援を行っている 記録を具体的に書いている 	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援管理責任者が行っている 本児と保護者のニーズに合った内容設定にしている その時々々の状況を踏まえながら専門的な内容も含めて支援内容を考えている 	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 気になる点は改善の話し合いを行っている ミーティングで支援の振り返りや気になる点を話し合う時間を設けている 	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様に応じて目標をその都度変更、継続している 子どもに合わせたプログラムを組んでいる 利用児の状態や興味に合わせて活動内容を変えながら行っている 	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 必ずお互いの利用者様の理解を経て行っている 個別支援の中でも他児と関わる機会を設けている 活動の中で、同時刻の他児との関わりを持っているように行っている 	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 連続した支援になるように必ず引継ぎ等行っている 支援予定表の確認を必ず行っている ミーティングで職員間で支援の振り返りを行い、次回入る担当に内容を引き継いでいる 	・全利用者の把握を職員全員が共通理解を持つ必要がある
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 気づいた変化はミーティングにて共有している 決められた日にミーティングを行う 職員間でのミーティングで気になった点などを共有している 	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 次回の利用までに記録がお見せできるように業務の効率化を行っている 気になることや様子を記録に書き留めている 欠かさず支援記録を入力し、次回の支援の際（間に合わなければ入力して次回）にお渡ししている 	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 適宜見直しを行っている。 半年に一度モニタリングを行っている。 職員間でのミーティングや保護者からの意見をもとに気になる点があれば見直しを行っている 	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 可能な際は児発管と担当指導員が参加し、支援等で指導員が参加が難しい場合には事前に情報を申し送りして児発管が参加している 	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に行わせていただいている 保護者様からのご要望に応じて関係機関連携を行っている 	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に行わせて頂いている 保護者様からのご要望に応じて関係機関連携を行い、支援内容等の情報提供と相互理解を図っている 	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	・積極的に行わせていただいている	・事業所側からの提案を積極的にしていく必要がある
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5		・現在行っていないため繋がりを持って連携を図っていく必要がある
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・必要に応じて連携を行っている	・連携を軸に今後も継続的にしていく	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・支援の中で子育てサポートを活用している ・フィードバック時に様子をお伝えしている ・支援後のフィードバックの時間や、支援見学いただく保護者様とは支援の中で現在の様子についてお話をする機会を設けている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・支援の振り返りの中で情報提供をしている	・積極的に家族支援を行い、支援見学をしてくださっている保護者様にはその場でフィードバックをしながら家でのことも聞きつつ支援していくようにする	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・書類の説明などはしっかりとお伝えしている ・契約時に丁寧に説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・児発管と話し合って生活に還元できるように工夫している ・子どもと保護者の思いの聞き取りを行っている ・支援後の振り返りや、支援見学の際にお話をして意向を確認しながら進めている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・支援のフィードバック時などに行っている ・計画書のサインをいただく際、支援内容の説明を行い同意を得て行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・事業所内相談や子育てサポートなどを行っている ・保護者様との振り返りの時間や、必要に応じて事業所内相談を行って助言や支援を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・兄弟での利用の方に対して、必要に応じて兄弟間の支援を行っている	・事例検討会等のみで頻繁には行っていないため定期的に行えるようにしていく。 ・父母の会や保護者会の実施については今後の課題。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・予定を決めて相談等を行っている ・その場で返答できるものはお答えし、その場での返答が難しい場合には一旦持ち帰ってミーティングで共有したり、管理者・児発管に相談したりして対応している	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・月2回のブログ更新とLINE配信を行っている ・LINEの一斉配信で1月ごとの空き状況の配信をしたり、災害時にはLINEでの一斉送信に加えて当日支援予定の利用者様には電話連絡も行い伝えている		

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報のファイルは鍵付きの書庫に保管している ・PCも同様に鍵付きの書庫に保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・絵カードや言葉を簡単に伝える等、配慮をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		地域を巻き込んだイベントは少なく、利用者様向けのイベントが多いため少しずつ地域の方も参加ができるイベント企画を行っていく必要がある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・毎月防災訓練を利用者と一緒に行っている ・マニュアルも作成しており玄関の靴箱上に置いてある	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・毎月テーマが異なる防災訓練を利用者と一緒に行っている ・社内の研修を受けている	・BCP計画の見直しの時期となってきたため見直しをする必要がある
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・基本情報は全員確認している ・アセスメント時に聞き取りを行っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・食事の提供は行っていない	・食事の提供はなくても服薬状況と合わせて聞き取りを行うようにする
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・社内研修で行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・事前に身体拘束の同意書を取っており、緊急で安全を確保するために身体拘束をする場合には、状況を説明して家族の同意を得ている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット報告書を適宜作成し、全員に回覧をして共有を行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・定期的に虐待防止・身体拘束防止の法定研修や委員会研修が社内設定、実施されている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・事前に身体拘束の同意書を取っており、緊急で安全を確保するために身体拘束をする場合には、状況を説明して家族の同意を得ている ・個別支援計画にも同様に記載している	